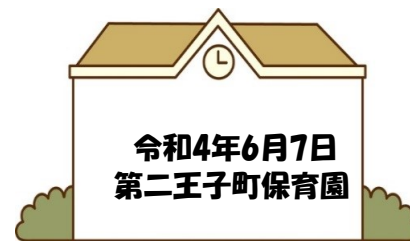


6月

# 厚けんだより

春と夏の変わり目である『梅雨』の時期です。  
5月までのふんわりとした温かさから、ガラッと「ジメジメ」とした雨ばかりに変わります。園庭に出られない子どもたちには、室内で楽しく過ごせる様、計画していきたいと思ひます。



## 虫刺されに注意！！

## 熱中症と食中毒に注意!!

先日、ニュースで体育大会が行われている中30人以上の生徒と保護者が救急搬送されたことが放送されていました。マスクを着用しなくて良いことになっていましたが、着用していた生徒もいたようです。グンと気温が上がり、体も慣れていないこの時期が油断もあり、一番危険なのかも知れません。とにかく、小まめな水分補給を行い、子どもたちの顔色や活動の姿をしっかりと見ながら**健康管理**をしていきます。保護者の皆様には、持ってくる水筒の水や麦茶など十分な量をお願いします。なくなったときは、保育園で補充します。どうぞ、宜しくお願いします。また、食中毒の注意も必要です。決められた**衛生管理**をしっかりと行い、安心して給食やおやつを食べてもらいたいと思ひます。

## お願い

内科検診、歯科検診が受けられなかったおひさんは、6月末までには、検診をお受け下さい。その際、担任より所定の用紙を受け取り持参して下さい。どうぞ宜しくお願いします。

内科検診・・・平田医院  
歯科検診・・・オータニデンタルクリニック



これからの季節で心配な虫刺され!!どこからか侵入してくる「蚊」や「ブト」等々。幼児は大人に比べて反応が強く現れる傾向があり、しこりを伴う赤みや、水ぶくれになることもあります。また、子どもの場合、汚れた手で引っかいたり、つぶしたりして、二次感染のとびひになる場合もありますので、まずはかゆみを抑えてあげることが大切です。刺された直後ではなく、朝になり「パンパンに腫れる」ということがあります。子どもでは**遅発型のアレルギー**が起こりやすいということですのでよく腫れますが、成長とともに、徐々に腫れなくなるようです。治療は、抗ヒスタミン剤の飲み薬とステロイドの塗り薬を塗ること、そして**何より冷やすことが大切だ**ということです。保育園でも、まずは、刺されたところを、しっかりと冷やし薬を塗る処置をします。また、おうちで虫に刺され、上記のように後から腫れが出たりすることが多いようですので、受入の際にお申し出下さい。ひどく腫れている場合は、病院受診をお勧めします。

※因みに、園で使用している塗り薬は「**小児用ムヒ**」です。



## 雨具の取り扱いについて

この時期、傘は必需品ですが、振り回したり、遊んだりすると怪我や事故につながる場合があります。**「振り回さない」「あそばない」「使わないときは先端を下に向ける」**など安全に使用することをご家庭でもお話いただくようにご協力をお願いいたします。また、お友だちと同じ傘や長靴の場合があります。いつも使用しないことから名前が書かれていない場合があります。すべての持ち物に、記名をお願いします。



## プール遊びについて

今年度のプール遊びをどの様に行うか検討中です。子どもたちが大好きな水遊びを楽しめるようにしたいと思ひます。また、具体的に決まりましたら、ご案内します。

